

平成 24 年度施策パッケージヒアリング資料

(課題解決型)【環境省】

	施策パッケージ番号	291000	領域	ライフイノベーション	施策パッケージ名	子どもの脆弱性を考慮したリスク管理体制構築による安全・安心な環境の実現	
施策パッケージの目標	10万組の親子を対象とした大規模かつ長期のコホート調査「子どもの健康と環境に関する調査（エコチル調査）」を2027年まで実施し、環境が子どもの健康に与える影響を明らかにすることにより、子どもの健康を守るためのリスク管理体制構築を通じて、次世代育成に係る健やかな環境の実現を図る。また、第4期科学技術基本計画で掲げられた、ライフイノベーションにおける革新的な予防法、新しい早期診断法の開発等に貢献する。						
目標実現に向けた具体的アプローチ	本施策パッケージでは、参加者（妊婦）の母体血や臍帯血、母乳などの生体試料を採取保存・分析するとともに、子どもが13歳に達するまで質問票等による追跡調査を行い、収集した生体試料・データの分析結果について統計学的解析を行うことにより、環境が子どもの健康に与える影響を明らかにする。 また、これらの10万組の生体試料とデータの組み合わせを保管することにより、環境要因に限らず幅広い視点からの子どもの健康研究の共通基盤として機能し、ライフサイエンス分野の科学技術の発展及び知財開発における国際競争力の確保に貢献する。						
施策パッケージ内の個別施策	個別施策名	概要及び到達目標・時期			H24 当初合計額 （復興、要望枠含） （H23）（百万円）	期間	実施機関
	子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）	全国で10万人の親子の協力を得て、子どもが13歳に達するまで生活環境、健康状況を追跡する。			5,676 (4,640)	H22-H39	環境省 国立環境研究所
施策パッケージ全体予算額 （百万円）	H24 当初要求額合計（復興、要望枠を含む）				5,676		
	うち運営費交付金				5,590		
期間	H22-H39		資金投入規模（億円）			－	
実施体制	環境省の企画立案の下に、国立環境研究所がコアセンターとして実施機関として調査全体の取りまとめ及びデータの解析や試料の分析等を行い、国立成育医療研究センターがメディカルサポートセンターとしての医学的支援を行いつつ、全国15地域の大学等によるユニットセンターと協力し、3年間の参加者募集と13年間の追跡調査を実施する。 調査の実施にあたっては、諸外国の先行調査やWHO・UNEP等の国際機関、米国環境保護庁とも連携・協力し、得られた知見を本調査に還元する。						
施策パッケージ責任者	環境省環境保健部環境安全課環境リスク評価室 戸田室長						
施策パッケージの目標実現に向けた現状分析	平成22年度より本調査を開始し、全国15地域のユニットセンターや調査地区の選定、研究計画書や実施マニュアル等の策定、地域における自治体や医療機関との連携体制の構築、調査実施者の研修等の調査体制を整備した。 平成23年（2011年）1月から参加者の募集・登録を始め、全国15地域のユニットセンターの下、約310箇所の医療機関の協力を得て、調査が進められている。平成23年8月末時点で、約1万3千人の妊婦が登録されており、約70%と見込んでいた同意率は76%となっているなど、3年間で10万人の参加者の確保に向け、調査は順調に進捗している。						